

令和5年度

第2回 大垣市子育て支援会議 会議録

令和5年度 第2回 大垣市子育て支援会議 会議録

日 時 令和5年10月11日（水）  
14：00～15：30  
場 所 市役所4階 情報会議室

1. 会議次第

(1) 次期計画の策定に係る市長あいさつ

(2) 議題

大垣市子育て支援計画の策定について

- ① 次期子育て支援計画の策定について
- ② 子育て支援に関するニーズ調査
- ③ 子どもの生活状況調査

(3) 報告事項

- ① 大垣市におけるこどもの居場所づくりについて
- ② 大垣市こどもまんなか応援サポーター宣言について
- ③ 大垣市立ひまわり学園について

2. 出欠席等の状況

(1) 出席委員：12名（敬称略）

区分	氏名	役職等
学識経験者	光井 恵子	大垣女子短期大学幼児教育学科 学科長
	藤岡 恭子	岐阜協立大学 経済学部 教授
子育てに関し優れた識見を有する者	中山 健一郎	大垣市小中学校長会 川並小学校 校長
	平野 宏司	大垣私立幼稚園連合会 キートスガーデン幼稚園 園長
	浅野 弘峰	大垣民間保育園連合会 みぞぎ 園長
	松村 麻里	大垣市PTA連合会 副会長
	大橋 奈麻輝	社会福祉法人 大垣市社会福祉協議会 事務局長
	三代 広子	大垣市子ども会育成連絡協議会 会長
	安田 典子	特定非営利活動法人 くすくす 理事長
その他市長が適当と認める者	沼口 諭	大垣市医師会 会長
	堀場 貴仁	連合岐阜西濃地域協議会 事務局長
公募委員	松好 和子	

(2) 欠席委員：3名（敬称略）

区分	氏名	役職等
子育てに関し優れた識見を有する者	井上 直美	大垣市民生・児童委員協議会 主任児童委員会 会長
その他市長が適当と認める者	三輪 正直	大垣商工会議所 専務理事
公募委員	西脇 諭美	

(3) 事務局：16名

- 毛利 正人 (こども未来部長)  
浅井 靖弘 (子育て支援課長)  
川崎 彰浩 (保育課長)  
林 美智代 (保育課対策官)  
永井 康 (子育て総合支援センター所長)  
高木 康洋 (子育て支援課主幹)  
内山 良 (子育て支援課主幹)  
渡邊 英佑 (子育て支援課主幹)  
高木 明弘 (保育課主幹)  
伊藤 元之 (まちづくり推進課男女共同参画推進室主幹)  
御田村 真理 (保健センター課長)  
鹿野 由美子 (学校教育課主幹)  
田島 善之 (社会教育スポーツ課主幹)  
松原 和彦 (子育て支援課主査)  
安藤 貴史 (子育て支援課主事)  
服部 夕里子 (子育て支援課主事)

(4) 傍聴者 2名

3. 議事

(1) 議題の審議

大垣市子育て支援計画の策定について

- ① 次期子育て支援計画の策定について
- ② 子育て支援に関するニーズ調査
- ③ 子どもの生活状況調査

資料No.1	次期子育て支援計画の策定について
資料No.2-1	子育て支援に関するアンケート調査(案)【未就学児保護者用】
資料No.2-2	子育て支援に関するアンケート調査(案)【小学生保護者用】
資料No.3-1	子どもの生活状況調査(案)【こども用(小5・中2共通)】
資料No.3-2	子どもの生活状況調査(案)【保護者用(小1・小5・中2共通)】

**事務局** 資料説明

**会長** 意見、質問等があれば挙手の上、発言願いたい。

**I 委員** 子育て支援に関するアンケート調査についてお伺いしたい。地域子育て支援拠点について、キッズピアおおがきと南部子育て支援センター、地域子育て支援センターそれぞれについて尋ねる設問があるが、国の施策で行くところらは地域子育て支援拠点として同じくくりになると思うが、一つ一つ聞くのは、市としてそれぞれのニーズを把握したいという解釈でよいか。

**事務局** そのとおりである。

**I 委員** 今回の調査で、ヤングケアラーについて調査頂けるということで、ありがたいと思っている。自分が貧困の状態であるということに気付いていない子どもたちもいるので、実施していただくことで子どもたち自身が気付くきっかけにもなると思う。

**D 委員** こどもまんなか応援サポーター宣言の内容は、次期計画に反映されるのか。

**事務局** 次期計画に盛り込む、市町村こども計画の部分で、子どもをまんなかに据えて考えていくといった内容を盛り込む予定であり、先日の宣言も踏まえて次期計画を策定していきたいと考えている。

**D 委員** アンケートに問合せ先として市の担当課が記載されているので問題ないかと思うが、こういった保護者向けのアンケートを実施されると、園にお尋ねになる保護者の方もみえる。そのため、各園にこういった調査を実施することを情報提供していただくと良いかと思う。

**L 委員** 子育て支援に関するニーズ調査について、今大垣市が行っている施策に加えて、市民からどんな施策が求められているか知ることを目的に実施されると思うが、市民の中にも、子育て支援につながるいろんなことをやりたいと思っている人がいると思う。そういった人たちを掬い上げることを目的に、一般の方にもアンケートを取ることはできないか。

**事務局** 来年の1月以降に、子育て世帯以外の大人を対象に、子育て支援や子どもの貧困等についてアンケートを実施する予定でいるため、その中でそういった意向把握についても検討していきたい。

**I 委員** 子育て支援に関するニーズ調査に記載の、「子育て支援拠点」という文言について、一般の方は耳なじみのない言葉だと思うので、キッズピアおおがきや南部子育て支援センター、地域子育て支援センターを指すものである旨の注釈等を加えていただきたい。

また、今回の議題ではないが、資料No.5のこどもまんなか応援サポーター宣言の中の「子育て支援拠点」の文言にも、同様の注釈をつけていただくと良いと思う。

**事務局** 承知した。

**E 委員** 子育て支援に関するニーズ調査の調査数について、1,600人という数字はどういった根拠で出されているのか。

**事務局** 調査の対象者の母数が8,000人、その10分の1の回答数は有効回答として必要であると考え、回答率を50%としたとき、1,600人にアンケートを実施すると有効回答として800部確保できるため、調査数を1,600人としている。

**B委員** 今回無作為抽出で対象の方に実施されるということだが、もう少し内容を簡易にして、マークシート形式で尋ねるような調査を対象の保護者全員に実施出来ないか。

調査を実施することは、意向を把握することはもちろんだが、こういったサービスを市が実施しているという情報提供にもなる。また、貧困調査については、無作為抽出であると、実際にニーズのある人が調査対象から外れてしまうような場合もある。四件法等簡単な方法で良いので、対象者全員にアンケートを実施していただくと良いと思う。

**事務局** 保護者だけでなく、地域一体となって子育てをしていくという機運の醸成や、情報提供はいろいろな方法で実施していきたいと思っているが、こどもの居場所アンケートなど、さまざまな方法で子どもの意見を把握するよう努めているので、今回のニーズ調査と生活状況調査については、この形での実施をお願いしたい。

**K委員** このアンケート調査は市民に公表されるのか。

**事務局** 子育て支援会議の委員の皆様には、3月に実施予定の会議の中で報告させていただく。市民の方へは、調査結果を公表するというよりも、その先の、結果を基に導き出されるニーズと、それを踏まえた計画の策定の段階での公表になると考えている。

**I委員** パブリックコメントは実施されるのか

**事務局** 調査の段階では実施しないが、計画策定についてはパブリックコメントを実施し、市民の方の意見を反映する予定である。

**会長** その他、意見等はないか。

**委員** (発言無し)

**会長** 「議題1：大垣市子育て支援計画の策定について」は「承認」としてよろしいか。

**委員** (異議なし)

**会長** 議題1は、「原案どおり承認」とする。

(2) 報告事項

- ① 大垣市におけるこどもの居場所づくりについて
- ② 大垣市こどもまんなか応援サポーター宣言について
- ③ 大垣市立ひまわり学園について

資料No.4 大垣市におけるこどもの居場所づくりについて
資料No.5 大垣市こどもまんなか応援サポーター宣言について
資料No.6 大垣市立ひまわり学園について

**事務局** 資料説明

**会長** 意見、質問等があれば挙手の上、発言願いたい。

**I 委員** 報告事項③のひまわり学園についてお尋ねしたい。主な改正点で挙げられている、保育所等訪問支援及び障害児相談支援は、県の実施している相談事業とどう違うのか。

**事務局** 障害児の通所支援事業の中の一つの福祉サービスであり、県の指定を受けて、ひまわり学園が令和6年度から実施させていただくものである。

**F 委員** こどもの居場所づくりについて、今、こどもの居場所がないという現状がある。私たち市民活動団体が居場所づくりをしているが、必要な子たちが実際にいて、来年度、再来年度に向け、支援を継続すると言われるが、今必要な子どもたちへどのような支援を考えているか。国もこども家庭庁ができて、市でしか取ることのできない補助金等もある。そういった補助金の活用も視野に入れていただき、居場所づくりをしている団体と連携して、大垣市のこどもの居場所づくりを進めていただけたらと思う。

**事務局** 現在、こどもの居場所づくりについて、今年度及び来年度の2か年をかけて検討しているところである。今必要としているこどもの居場所はいいのかといわれると大変苦しいところではあるが、こどもの居場所についてどう考えていくべきかというところをしっかりと示していきたいと考えている。

**I 委員** こどもの居場所アンケートについて、他のアンケートが無作為抽出であるのに対し、こどもの居場所アンケートでは、対象校が定められている理由を教えてください。

**事務局** こちらのアンケートは、学校に協力いただき、学校で使用しているタブレットを使用して子どもたちが回答するものとなっている。授業の時間を使用してアンケートに協力いただいているところもあり、すべての学校でとなると、学校の先生への負担も大きいため、学校と相談した上で、地域性を鑑み、表にある10校に限定し実施した。

**会長** 意見も出尽くしたようであるので、報告事項についての協議は以上とさせていただきます。

最後に、会をとおして意見、質問等あれば発言願いたい。

**J委員** 病児保育について、現在連携しながらやっていると思うが、ニーズ調査の中で、実際に保護者の方はどう捉えてらっしゃるのかを把握し、参考にしながら検討していきたい。

こどもの居場所づくりに関して、不登校の問題など、さまざまに関わってくると思うし、幼児も含めて、地域でサポートしてもらえるところがあると、不登校の子や、その周りに人にとっては支えになってくると思うので、アンケートなどでニーズを把握しながら、進めていっていただけると良いと感じた。

**C委員** 策定のためのアンケートについて、抽出での実施で問題ないかと思う。学校としては、よく報道されているいじめアンケートといったところで、現状把握に努め、気になる点があれば、一人一人に聞き取りや面談を行うなど、解決のために都度動いている。いろんなところから、支援の手が差し伸べられているので、これからもよろしく願いたい。

**E委員** アンケートの実施等ご尽力いただき感謝申し上げます。先ほど、今の子どもたちのことはどうするのかと話もあったが、すぐには対応が困難なこともある。先の子どもたちのためにこれだけ計画を練って実施されているので、次期計画の策定や、これからの市の施策がより良いものになっていくと良いと思う。

**G委員** 他の部局もさまざま計画の策定が進んでいる中で、当然ながら未来ビジョンを基に各計画が進んでいると思うので、縦だけではなく横の中で動いていただけると良いと思う。社会福祉協議会としても、子ども食堂への支援であったり、子どもたちをそういった居場所につなげるといったところで一歩踏み出している。その中で、子どもだけではなく、お年寄りも一緒になって、いろんな人の縦だけではない横のつながりができると良いと感じた。

情報提供になるが、子ども食堂の支援というところで、バローさんから食材の支援であったり、11月にはフードボックスの設置式が行われるというところで、こういった企業等からも、支援の輪を進めていけると良いと感じている。

**I委員** 前回の計画から期間が経ち、今回次期計画の策定というところで、こども家庭庁ができ、子どもをまんやかに据えて考えないといけないというなかで、子どもの意見を聞くというのは難しいことと感じる。でも、こうしてこどもの声を聴くことで、子ども自身が声を上げていいんだと思えることに繋がって、それが子ども自身の自己肯定感であったり、自分を大事に思うことに繋

がっていくと思うので、ぜひ学校関係者を含めて、子どもの意見を聴くということについて、何かルール化できると良いのではないかと感じた。

**L委員** アンケートの調査件数など、しっかりと筋道を立てて、先を見据えて動いていただいて感謝申し上げます。市民は、お金のことであったり、他の事でも、個人の思いで要求をしてしまうが、行政は、今回のアンケート一つとっても先を見据えて道筋立てて実施していただいている、市民を平等に考えていただいているありがたいと思う。

あるお母さんがお子さんを病児保育で預けたいとなった時に、大垣市ではすぐに預けられるところがなくて、私が預かることも病児なので難しく、長野県のご実家まで子どもを預けられたことがあった。病児保育に限らず、それぞれの得意分野を生かした子育て支援、例えば学習支援をとっても、居場所づくりをしているから私がやる、というのではなくて、塾であったり、家庭教師の人をお願いをして、居場所づくりの一環として学習支援をしていただく、といったことができるとう良いと感じた。

**H委員** アンケートの実施について、要望そのほか、言いたいことをどこに言ったらいいのか、誰に言ったらいいのか分からない人も多いと思う。そういった方たちの意見を掬い上げることもできると思うので、実施して頂けてありがたい。

こどもの居場所づくりについて、最近多く耳にするが、子ども達自身にとっての居場所はどこなんだろうと考えることがある。健全な子どもは、親さんに連れられたりだとか、いろいろ声がかかった時に元気に参加したりできるが、そこに現れていない子というのが支援が必要な子であったりして、でもなかなか把握しづらい。そういった子どもたちを探ると、親さんが近所づきあいをされてなかったりして地域になじみがなかったりする。本当に困っている人が助けてもらえる場所や、応援してもらえる場所はあると思うが、必要な方に届いていないことがあるので、地域や行政がそういった場所の周知や浸透を進めていただいただけるとありがたい。

居場所はその子自身が決められることではあるが、そうでない子もいて、子どもたちが大人に関わって、大人からの愛情や助けられているということ認識できる大垣市であるといいなと思う。

**F委員** 大垣市で子育てをして、子どもが乳幼児のときは居場所がたくさんあって、子育てのしやすさをとても実感していた。しかし、子どもが小学校中学校と大きくなるにつれて、居場所がないことを実感し、今居場所づくりに取り組んでいる。0歳から18歳まで、子どもたちが自分の足で行ける、さまざまな居場所があると良いなと思う。今日も西公園でこどもの居場所を開いているが、妊婦さんや赤ちゃん連れのお母さん、不登校の子やおじいちゃん、おばあちゃんなど、多くの方が来て、さまざまなつながりができている。ボランティアだけでは、継続が本当に大変で、回数や時間を増やしたいと思っても、

なかなか難しい部分があるので、このあたりを真剣に考えていただけるとありがたい。

**K委員** 実態を調査するのはとても大切なので、実施していただき、結果について興味深く思っている。その中で、不登校であるとか、ヤングケアラーの子どもたちも含めた、子どもたちの幸せについて考えていっていただき、地域一体となってみんなで支え合っていけると良いのではないかと思った。

**B委員** ニーズ調査を実施して次期計画を策定ということで、大変なことであると思うが、ニーズ調査の実施で市民の方に市の施策をより知っていただく良い機会と思う。この子育て支援会議についても、子育て支援に携わる方々が一堂に会して、市の子育て支援についてご意見いただける場ということで、私自身勉強になり、素晴らしい場と感じている。

**会 長** 大垣市が「子育て日本一のまち」そして、「こどもまんなか」の実現に向けて進んでいけると良いと思う。

行政のみが頑張っても限度があり、市民の方には情報が届かなかつたり浸透しない現状がある。この会議に出席の皆さんは子育て支援に携わっている方々かと思うので、今出席いただいている委員の皆さんから、所属する団体の方たちや、活動で関わる市民の方に、この会議で出た情報や、その他の支援について、ぜひ発信していただきたいと思う。また、活動される中で、大垣市の子育て支援について感じたこと等をこの会議で上げていただき、会議の中で協議していったら、市の施策に反映していけるとより良いものになると思う。

**事務局** 本日の会議は以上をもって終了とさせていただきます。